住みよいまちづくりへ 環境美化推進大会を開催

市民憲章の唱和で大会が始まりました

十月七日、市民会館で「新津市環境美化推進大会」が開かれました。これは、今年の一月から「新津市環境整備基本条例」が施行されたことを記念して開かれたものです。

条例の精神を生活の場に

広報でも何回かご紹介した環境整備基本条例は、県内の他市に先がけて制定されたものです。その後、各地でも制定の動きが伝えられていますが、この条例のポイントは、市民の積極的な参加と協力によって、住みよいまちづくりを進めようということです。

このたびの環境美化推進大会は、この条例の精神を生活の場に生かし、より一層の盛り上がりをめざして開かれたものです。

環境美化都市決議を採択

今年度のミス新津―曽我八重子さんのリードする市民憲章の唱和で幕を開けた大会では、最初に、環境美化推進優良団体の表彰が行われました。表彰されたのは、公衆衛生協会車場支部、同中村支部、それに小合西部婦人会の三団体です。車場支部は二十二年間、中村支部は十九年と五か月、小合西部婦人会は十九年間という長期間にわたり、地域の環境美化活動に貢献している功績が認められたものです。

続いて、さきごろ募集した環境美化に関する標語と作文の入賞者の発表と表彰もこの大会で行われました。表彰が一段落したあと、清野いずみちゃんが作文を読みあげると、「もっともだ」とうなずく人の姿も…。

そして環境美化意識の一層の高まりをめざし、上に掲げた「環境美化都市決議」が提唱されました。公衆衛生協会車場支部の近藤洋子さんによって読みあげられたこの決議は、満場一致で採択されました。

リサイクルの記念講演も

大会の最後は、廃棄物処理問題の専門家の加藤博明氏による記念講演です。

加藤氏は、廃棄物問題の背景や現状などをわかりやすく説明したあと、豊富な経験をもとに、全国各地の再資源化の実例を紹介。そして再資源化にあたっては、回収業者やメーカー、行政の協力も必要だが、何よりも住民の協力が大切です、と訴えていました。

講演する加藤氏

環境美化都市決議

私たちの郷土新津は、地方中核都市として発展し、さらに10万都市建設に向かって大きくはばたこうとしています。

私たちの郷土新津の環境を守り、育て、市民憲章の私のテーマである「いつも健康で暮らせる清潔なまち」にするのは、私たち市民の強い願望であり、共通の目標であるとともに、私たちには、よりよい環境を子孫に引き継ぐ責務があります。

このことを市民ひとりひとりが自覚し、「私たちのまちは私たちの手で」という郷土愛と自治と連帯の精神のもと、健康で清潔な美しいまちづくりを強力に進めるため、ここに全市民あげて新津市を「環境美化都市」とすることを決議します。

昭和57年10月7日

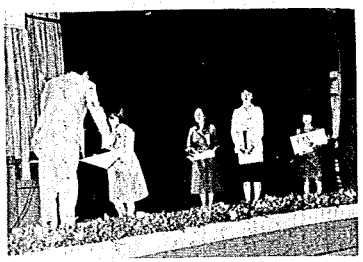
環境整備基本条例制定記念
新津市環境美化推進大会

お買物、ご用命は市内で

護身と長寿若返りの妙技
小学四年以上の男女百歳でも少々体の不自由な方でも大丈夫
勇気と自信と健康を求められよ
週1回くらいが最適　水・金夜7時～9時まで　日曜日午後2時～4時まで
八光流柔術健康道場
新津市桜（バス停前）道場　古峰院 ☎4－0470
自宅連絡所　食堂　善乃屋 ☎2－1058
五泉道場　緑町（伯市原工場内）☎（02504）2－0336

環境美化に関する標語・作文

坂口氏らの作品が入選に


表彰を受ける入選者の皆さん

作文を読み上げる清野いずみちゃん

また大会では、さきごろ募集した環境美化に関する標語と作文の入賞者の発表と表彰も行われました。

先号でお知らせしたように、総応募数は、標語が四百二点、作文が八十七点という多数にのぼりました。厳正な審査の結果、それぞれ次の入賞者が選ばれました。なお作文の高校・一般の部では応募がなく、中学校の部では入選作なしという結果でした（敬称略）。

■標語

入選者とその作品は左のとおりです。

小学校低学年の部（佳作）

▽きれいな町は
一人一人の心がけ
田中良成（一小三年）

▽新津市は　緑がにあう
きれいな町
長谷川幸代（金津小三年）

▽ちょっとまて
そのゴミをくずかごへ
宮崎　隆（一小三年）

小学校高学年の部（佳作）

▽そこはだめ　ゴミは
きちんと　ゴミばこに
田中克江（小合小四年）

▽みすてるな　小さな
ゴミが　よごれた町に
丸山　優（小合小四年）

▽見すごさず
拾う心で町づくり
里村　聖子（一小五年）

中学校の部（佳作）

▽ポイすては
自然はかいの第一歩
坂爪美奈子（三中二年）

▽健康と　緑に満ちた
まちづくり
増井　康（三中三年）

▽はじめよう
緑豊かな町づくり
渡辺　孝（三中三年）

高校・一般の部（佳作）

▽市民の輪　広げて
築こう　緑化都市
原田　敬子（滝谷町）

▽不法投棄　なくして
守れ　我等の河川
稲月　広次（草水町一）

▽はぐくもう　きれいで
住みよいみどりの新津
酒井　良信（中沢町）

■作文

小学校低学年の部

入選
「わたしたちの町を
きれいにするには」
清野いずみ（一小三年）

佳作
「ゴミの山に
ならないように」
あさみとおる（三小三年）
「こまったあきかん」
笠原ゆかり（三小三年）
「きれいな町を」
今井　靖子（一小三年）
「おやこハイキングで
秋は山へいったこと」
阿部たかし（小合東小二年）

小学校高学年の部

入選
「街をきれいに」
碇谷　佳子（三小六年）

佳作
「街をきれいに」
荒井美穂子（三小六年）
「もっときまりを守れば」
中野由紀子（金津小四年）
「きれいな町に」
安中晴子（金津小五年）

中学校の部

佳作
「駅前自転車置き場の
整理について」
本名　有希（一中二年）
「新津市の環境について」
伊藤　宏美（一中二年）

※なお入選者の清野さんと碇谷さんの作文を次のページでご紹介します。

標語入選作品

町がよごれる　一つぐらいとすてたごみ
小学校低学年の部　さいとう　のりこ（三小三年）

ちょっとまて　あきかんすてるな　集めて資源
小学校高学年の部　伊藤　智夫（金津小五年）

生ごみの　水切り守って　省資源
中学校の部　稲月　忍（五中一年）

街の美化　あなたの手から　心から
高校・一般の部　坂口　浄（滝谷町）

お買物、ご用命は市内で

故郷の甘～い秋の味覚
おけさ柿（八珍）
地方発送受け承ります
フレッシュでおいしい
果物の店
やまいし
新津市本町3　TEL 3－0397

肌着・化粧品
資生堂チェインストア
本町2丁目　マツヤ　☎(2)0418 (3)0630
第四銀行が向い。北越銀行がとなり。